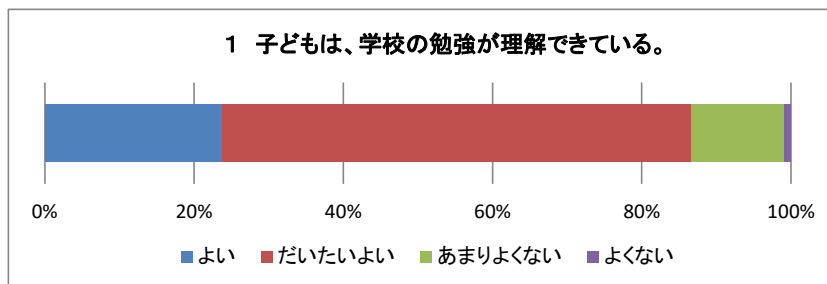


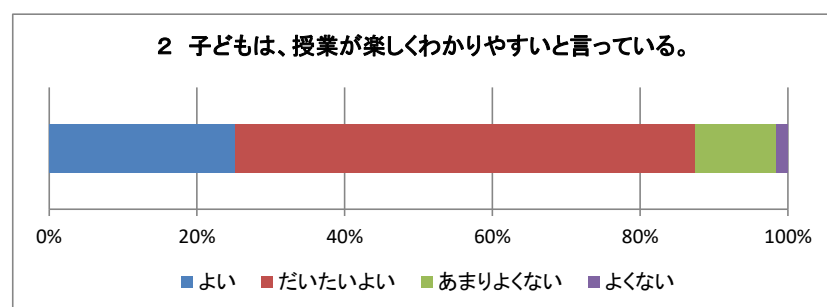
令和2年度 保護者アンケート 結果

宮若市立宮若西小学校



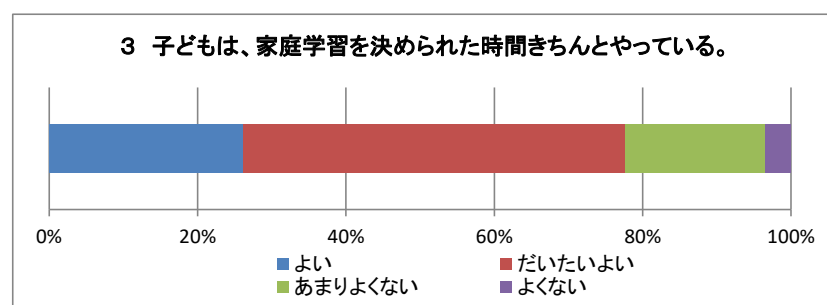
肯定 87%

「みやわかスタンダード」を意識した授業づくりを今後も徹底していく。学力向上に向けた取組についても検証サイクルに基づき行い、共有・徹底する。



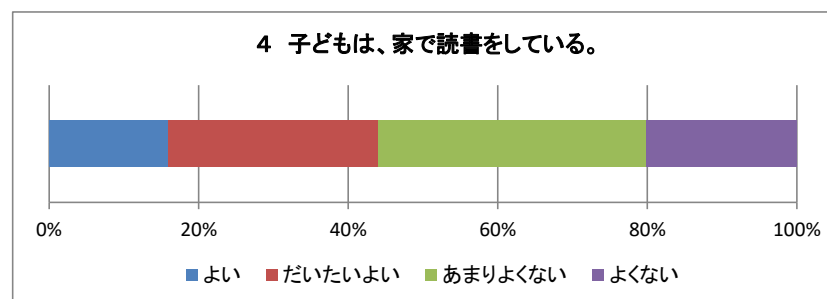
肯定 87%

保護者・児童アンケートの結果を職員で確認し、「わかる授業」づくりに向けての研修等を実施する。授業実践について具体的な手立てを確認していく。校内人材育成とあわせ、若年教員への指導を行う。



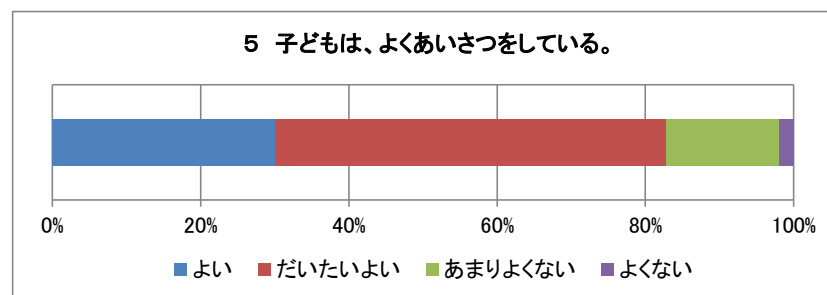
肯定 87%

家庭学習の取組については昨年度より肯定的な意見が7P高くなっている。取組の仕方、課題の量、時間について全校で共有徹底をした上で、児童への指導を行い、家庭にも周知していった成果だと思われる。今後は内容について個別の取組をしていく。



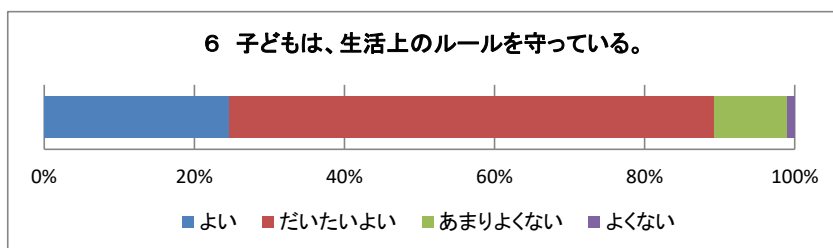
肯定 44%

家庭での読書の取組については肯定的な意見が低い。今後保護者への説明の場を設定、通信・懇談会等で読書への啓発が必要である。コロナ対策上図書室での活動が制限されたことも要因の一つと考える。3学期は校内での読書活動への取組を検討していく。



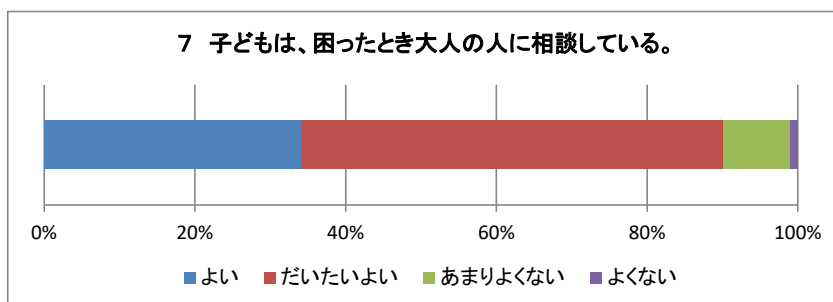
肯定 83%

あいさつについては、本校の重点取組の一つである。学級・学年・学校の取り組みとして発達段階に応じて進めている。教職員、子どもたちの意識は以前より高まってきている。さらに児童会等と連携し取り組みを進めていく。



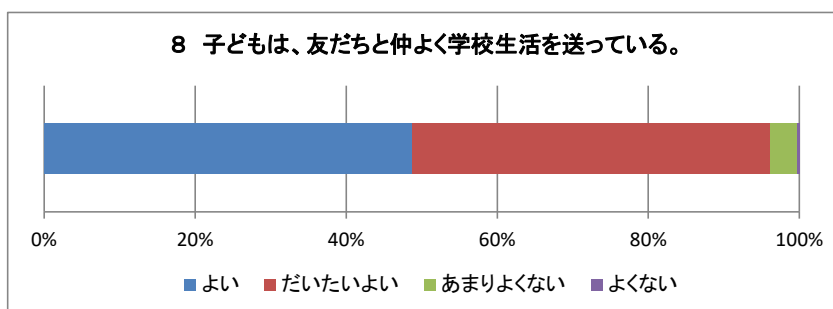
肯定 90%

廊下歩行については、児童会からの取組が進んできている。今後とも声かけを行っている。また、生徒指導の気になる点については、生徒指導担当を中心に共通理解を図り、徹底していく。



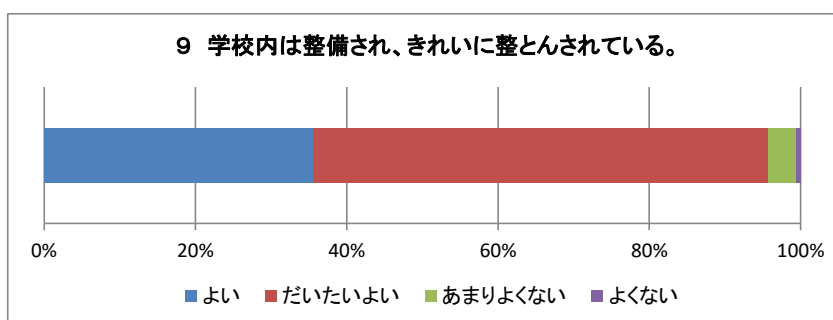
肯定 90%

肯定的な回答が多い。毎月の学校生活アンケートの取組や事後の生徒指導部の取組や学級担任の声かけなどが形として見えてきている。また、学期に一度児童一人一人と教育相談を継続していく必要がある。



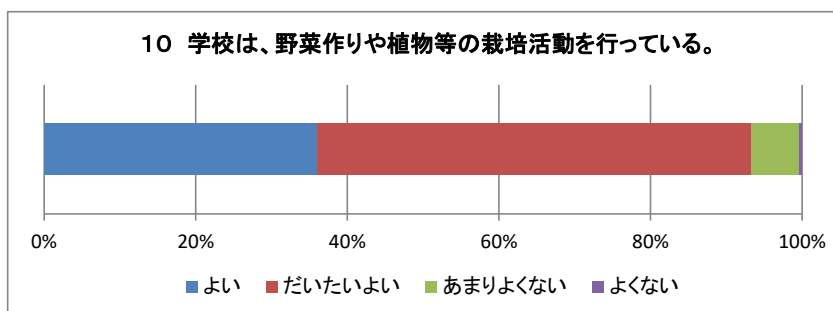
肯定 96%

肯定的な回答が高い。毎月のアンケートの取組や事後の生徒指導部の取組や学級担任の声かけなどが形として見えてきている。が、重点である「言葉づかい」については今後も指導が必要である。



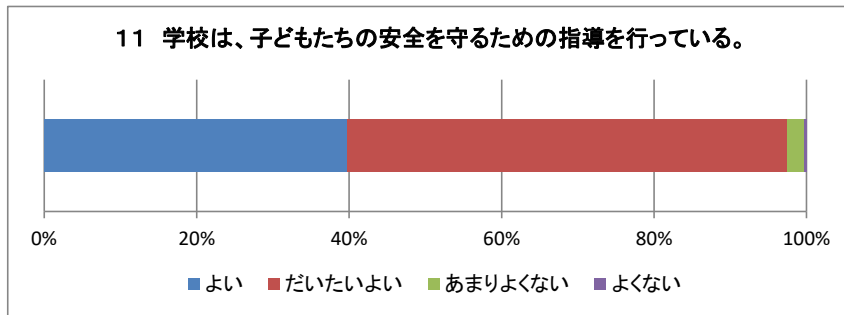
肯定 96%

校内整備については、肯定的回答が多い。今年度は保護者の来校を制限している。今後も黙勤清掃の取組と合わせて学校全体の環境整備をしていく。



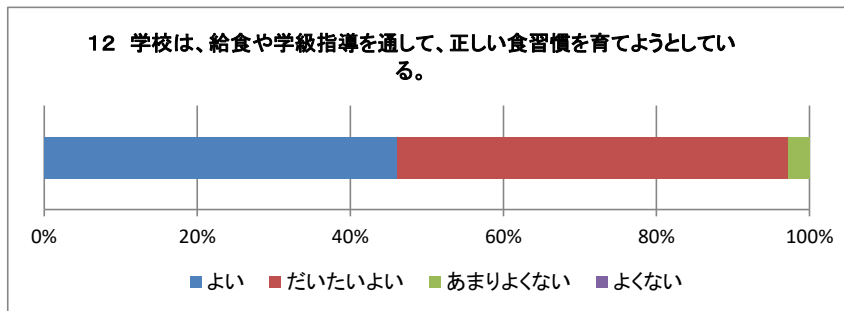
肯定 93%

今年度は5・6年による菊の栽培・栽培委員会及び4年生による桜草の栽培活動ができた。また、生活科での春野菜や夏野菜の栽培活動もできた。栽培委員会による桜草の地域への配付も実施した。またホームページ等で活動について地域・家庭への発信を行う。



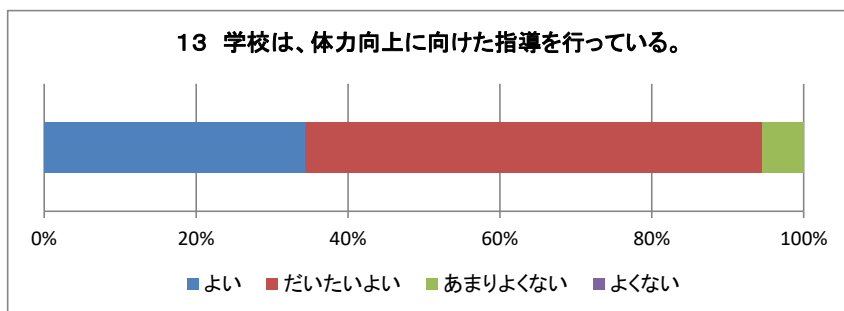
肯定 97%

交通立哨、安全マップの作成掲示、危険箇所アンケート等見える形での取組ができている。校内では重点項目である「廊下歩行」がまだ十分ではない。児童会からの取組を今後も徹底していく。



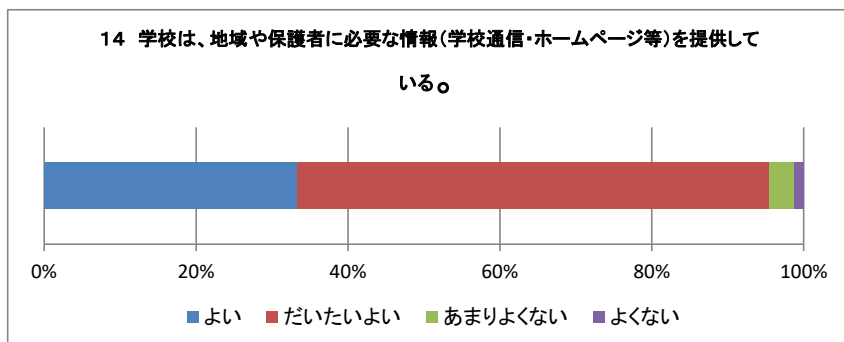
肯定 97%

栄養教諭を中心とした授業や給食指導をコロナウイルス感染防止対応と実施したことが正しい食習慣につながっている。現在、学校内で取り組んでいることを通信等で、保護者へ知らせていく必要がある。



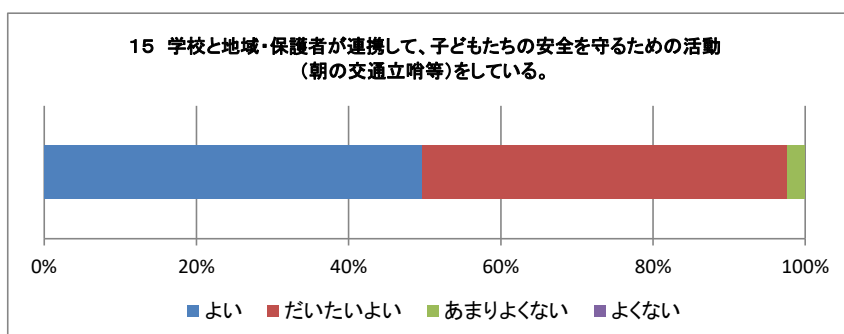
肯定 95%

体力向上に向けては体力アップシートの活用の取組や体力テスト結果など保護者へ発信していく。



肯定 96%

コミュニティスクールの各活動について、保護者への周知を図るためにコーディネーターを中心に今後ホームページ・通信等を活用していく。



肯定 98%

PTA活動と生徒指導担当が連携して、交通立哨や危険箇所のチェックなど計画的に行われるようになってきている。特に、危険箇所の対応についてはPTAの地区委員会が中心になって校区全体に出向いて確認や啓発を行っている。

